

# 仙台陣屋 かわら版

## 監物侯の遺作 新たに

仙台藩白老元陣屋の立役者であった三好監物の遺作が、新たに資料館の収蔵品として加わりました。監物が多用した号である「閑斎」が確認された墨画の掛け軸と、直筆の可能性が高い巻物の2点。いずれも状態が良好ですので、今日まで大切に保管されてきたことがうかがえます。

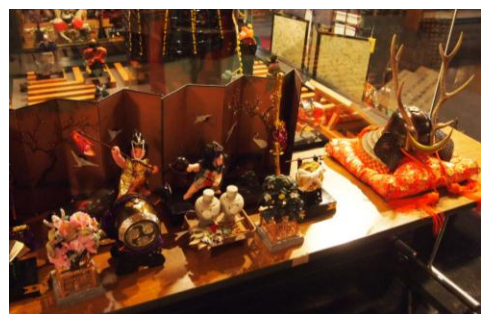
資料を寄贈して下さったのは東京都にお住いの志村さんです。志村さんは監物の娘である宰子が嫁いだ志村家の系譜に連なる方で、監物から数えて4代目の玄孫にあたります。北海道とも縁が深く、かつて資料館に立ち寄られたことがありました。

平成25年にも遺作の寄贈がありました。陣屋が構築されてから160周年を間近に控え、また監物侯の誕生から200年を数えたこのタイミングに、立て続けに貴重な資料をお寄せいただけたいことは、まさに望外の喜びといえます。

資料はさっそく「三好監物コーナー」にて常設しています。他の遺作もあわせ、是非ご覧になってください。



〈寄贈者の志村さんご姉弟（上）と、監物直筆の墨画（下）〉



〈武将のかぶとや金太郎人形などが並びます〉

## 五月人形の出番です

4月12日（日）から、今年も武者人形展を開催します。お雛さまみたいな段飾りは少ないですが、力強さと迫力溢れる5月人形には、悪いものを追い払う役割も期待されてきました。男の子を持つ家庭では5月5日が初の節句にあたるため、3月3日より大々的なお祝いとなることも珍しくないようです。GWが終わるまで飾っていますので、今から連休中の予定に入れておいてください。

# また来年に会いましょう

2月15日から実施していた「麗しの雛人形展」が、3月3日をもって閉幕しました。今年は例年の1.5倍近くとなる人形を公開したこともあり、レイアウトも色々と工夫してみました。知名度の向上もあってか、札幌の旅行会社が期間中にツアーを組むなど、町外からも沢山の人が資料館を訪れてくれました。

3月1日(日)には恒例の「お雛さま会」を催しました。当日は生憎の天気で、肌寒ささえ感じる一日となってしまいました。いつもは満室になるくらい好評のイベントなのに、最後まで空席が残っていました。毎年お雛さまをご覧にいらっしゃる寄贈者のご夫婦も見られず、色々と異なる展示会になりました。

残念な一幕はありましたが、全体的には多くの来場者で賑わった展示期間でした。イベントにあたりご助力くださいました皆さまには、改めてお礼申し上げます。



〈お話会の様子(上)と折り紙のお雛さま作り(下)〉



## お世話になりました

亀井進也臨時職員がこのたび、平成25年から勤めた資料館を離れ、新たな道を進むことになりました。多くの方々によくしていただいたお陰もあり、今後の人生の糧をたくさん得たようです。

「皆さんに支えられ成長することができました。心より感謝申し上げます。心より感謝申し上げます。」と述べ、「人との触れ合いを大切に、これからも励んでいきます」と、今後の豊を高くか宣言していました。



## 皆さんのご協力をお願いします

若葉の伸びる季節を迎えるにあたり、冬の間落ちた史跡の枝拾いを行うのですが、これに皆さまのお力添えをお願いします。ボランティアとして参加くださる方は、左記を参考にご連絡ください。

日程 4月24日(金)  
時間 9時30分～11時30分  
雨天 翌日に順延  
備考 事前にご参加のお電話をいただけると、雨天時の連絡をいたします。

## 集めています

小中学校の統合が相次ぐなか、散逸を防ぐべく、資料収集にご協力ください。写真や記念誌のほか、授業等にかかわる教科書や参考書および作成物など、郷土の歴史として残しておきたいものがありましたら、是非ともお知らせ願います。

「仙台陣屋かわら版116号(平成27年4月号)」

発行日:平成27年3月24日(火)

発行所:仙台藩白老元陣屋資料館 担当者:平野・亀井

<http://www.town.shiraoka.jp/bunka/jmya/>

Mail: [jmya@town.shiraoka.jp](mailto:jmya@town.shiraoka.jp) ☎090-2100-0000